

第6章 下水道管渠の維持管理

1 相模川流域下水道管渠の維持管理

(1) 調査概要

相模川流域において、「神奈川県流域下水道運転操作等維持管理業務委託共通仕様書」第6章第4節6-13（管路施設の巡視点検）に基づき、下水道管渠の維持管理を行っている。これにより、管渠・人孔内部調査及び地上点検パトロールを実施した。

(2) 管渠・人孔内部調査及び補修工事

相模川流域は、延長 11.1km をテレビカメラで調査を実施した結果を表-1に示し、その実施状況を表-2に示す。

平成30年度の管渠・人孔内部補修工事は、下記の内容で行った。

右岸幹線：管渠部 16箇所 接着補強型止水工法

表-1 平成30年度 管渠・人孔内部調査結果

調査種別	調査延長及び調査数	ランク別不良箇所数※	計
管渠部	11.1km	Aランク …… 23	378箇所
		Bランク …… 27	
		Cランク …… 328	
人孔部	105基	Aランク …… 27	169箇所
		Bランク …… 43	
		Cランク …… 99	

※判断基準 Aランク …… 緊急補修を要するもの
 Bランク …… 補修を要するもの
 Cランク …… 当面支障ないもの

表-2 相模川流域 管渠・人孔内部調査実施状況

管渠供用延長	調査年度	実施状況	
126.8km	平成28年度	左岸幹線（3回目）	15.8km
		第2伊勢原厚木幹線（1回目）	1.3km
		計	17.1km
	平成29年度	左岸幹線（3回目）	17.0km
		計	17.0km
	平成30年度	右岸幹線	5.7km
茅ヶ崎幹線		3.9km	
圧送管吐出部		1.5km	
計	11.1km		

(3) 地上点検パトロール

相模川流域幹線の全線パトロールとして、目視による点検を行い、その結果及び補修箇所数を表-3に示し、その実施状況を表-4に示す。

調査内容は、マンホール蓋の状況、マンホール蓋と路面との関係、下水道に起因する地上面の異常、下水道用地の管理状況を点検した。

ア 調査結果に伴う補修箇所

平成30年度の調査結果は、Aランク0箇所、Bランク0箇所、Cランク65箇所の計65箇所であった。

調査結果(1回目)から緊急を要する箇所はないが、不良箇所等の簡易補修を実施した。

表-3 結果及び補修箇所数

異常箇所調書結果						マンホール補修箇所		
ランク別※1		症状別				パトロール結果による補修	その他※2	計
ランク	箇所数	ガタツキ	段差	クラック	その他			
A	0	0	0	0	0	—	—	—
B	0	0	0	0	0	—	—	—
C	65	0	11	54	0	—	—	—
合計	65	0	11	54	0	26	0	26

- ※1 判断基準 Aランク …… 至急補修を要する箇所
 Bランク …… 2~3年以内に補修を要する箇所
 Cランク …… 観察を要する箇所
- ※2 道路管理者、住民等からの要請に基づく、緊急性を要する箇所

表-4 地上点検パトロール実施状況(平成30年11月現在)

幹線名	調査マンホール箇所数
左岸幹線	346
座間海老名幹線	48
綾瀬寒川幹線	80
藤沢寒川幹線	68
茅ヶ崎幹線	25
戸沢幹線	7
右岸幹線	209
伊勢原厚木幹線	24
平塚幹線	24
大磯平塚幹線	28
合計	859

※全線パトロール(年2回)

2 酒匂川流域下水道管渠の維持管理

(1) 調査概要

酒匂川流域において、「神奈川県流域下水道運転操作等維持管理業務委託共通仕様書」第6章第4節6-13(管路施設の巡視点検)に基づき、下水道管渠の維持管理を行っている。これにより、管渠・人孔内部調査及び地上点検パトロールを実施した。

(2) 管渠・人孔内部調査及び補修工事

酒匂川流域は、延長 7.0 kmをテレビカメラで調査を実施した結果を表-1に示し、その実施状況を表-2に示す。

平成 30 年度の管渠・人孔内部補修工事は、下記の内容で行った。

左岸幹線：管渠部 9 箇所・人孔部 63 基 接着補強型止水工法

中井二宮小田原幹線：管渠部 1 箇所 塗布型防食工

表-1 平成 30 年度 管渠・人孔内部調査結果





調査種別	調査延長及び調査数	ランク別不良箇所数※	計
管渠部	7.0km	A ランク …… 5	212 箇所
		B ランク …… 27	
		C ランク …… 180	
人孔部	74 基	A ランク …… 7	185 箇所
		B ランク …… 3	
		C ランク …… 175	

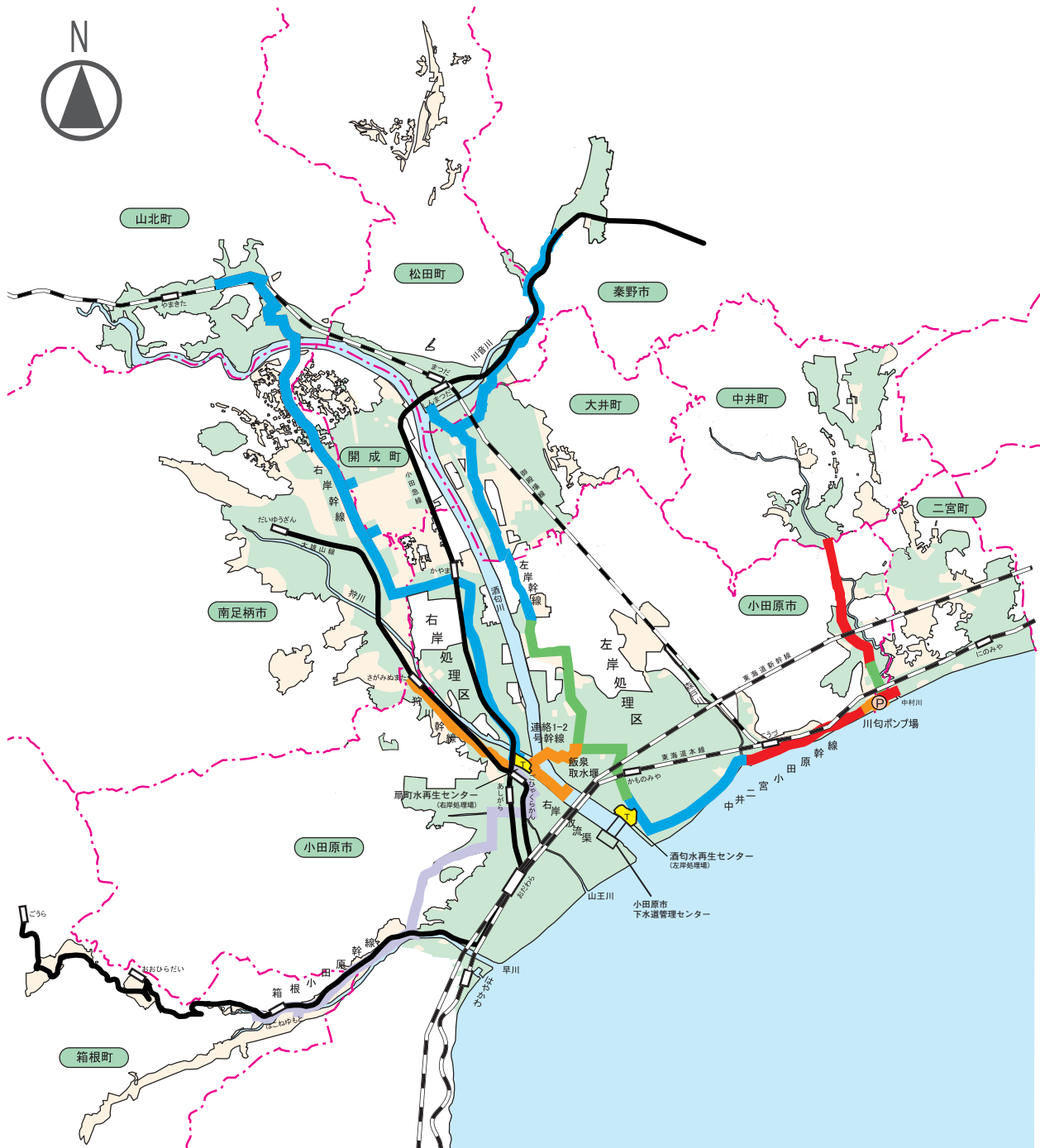
※判断基準 A ランク …… 緊急補修を要するもの
 B ランク …… 補修を要するもの
 C ランク …… 当面支障ないもの

表-2 酒匂川流域 管渠・人孔内部調査実施状況

管渠供用延長	調査年度	実施状況	
46.3km	平成 28 年度	右岸幹線 (2 回目)	7.2km
		計	7.2km
	平成 29 年度	左岸幹線 (2 回目)	8.6km
		計	8.6km
	平成 30 年度	狩川幹線	2.9km
		放流渠	0.9km
		連絡 1 号幹線	1.5km
		連絡 2 号幹線	1.6km
連絡 1 号幹線バイパス管		0.06km	
計	7.0km		

酒匂川流域 管渠・人孔内部調査実施箇所

凡 例	
	調査済箇所
	調査予定箇所
	H30年度補修工事箇所
	H30年度調査箇所



(3) 地上点検パトロール

酒匂川流域幹線の全線パトロールとして、目視による点検を行い、その結果及び補修箇所数を表-3に、また、その状況を表-4に示す。

調査内容は、マンホール蓋の状況、マンホール蓋と路面との関係、下水道に起因する地上面の異常、下水道用地の管理状況を点検した。

ア 調査結果に伴う補修箇所

平成30年度の調査結果は、Aランク1箇所、Bランク5箇所、Cランク75箇所の計81箇所であった。

調査結果(1回目)から緊急を要する箇所はないが、不良箇所等の簡易補修を実施した。

表-3 結果及び補修箇所数

異常箇所調査結果						マンホール補修箇所		
ランク別※1		症状別				パトロール結果による補修	その他※2	計
ランク	箇所数	ガタツキ	段差	クラック	その他			
A	1	1	0	0	0	—	—	—
B	5	0	4	1	0	—	—	—
C	75	2	40	29	4	—	—	—
合計	81	3	44	30	4	43	1	44

- ※1 判断基準 Aランク …… 至急補修を要する箇所
 Bランク …… 2~3年以内に補修を要する箇所
 Cランク …… 観察を要する箇所

- ※2 道路管理者、住民等からの要請に基づく、緊急性を要する箇所

表-4 地上点検パトロール実施状況(平成30年11月現在)

幹線名	調査マンホール箇所数
左岸幹線	225
中井二宮小田原幹線	75
連絡2号幹線	15
右岸幹線	135
狩川幹線	38
連絡1号幹線	19
右岸放流渠	8
計	515

※全線パトロール(年2回)